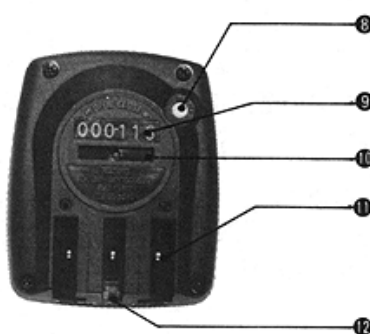
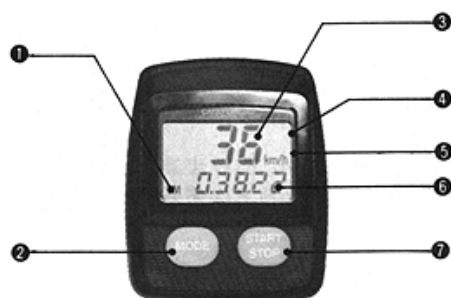


1 各部の名称

コンピュータ表面

コンピュータ裏面



- ① モード表示
- ② モードボタン
- ③ スピード表示/ケイデンス表示
- ④ ケイデンス単位(回転数/毎分)
- ⑤ 速度単位
- ⑥ データ選択表示
- ⑦ スタート/ストップボタン
- ⑧ セレクトボタン
- ⑨ 製造番号
- ⑩ バッテリーケースカバー
- ⑪ 接点
- ⑫ 固定部

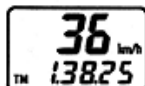
2 センサーブラケットセット



- ① ブラケット
- ② コード
- ③ ペダルセンサー
- ④ ホイールセンサー
- ⑤ ホイールマグネット
- ⑥ ペダルマグネット
- ⑦ コードクリップ 大(7本)
- ⑧ コードクリップ 小(1本)
- ⑨ ブラケット ゴムパッキング(1mm・2mm)
- ⑩ センサーバンド ゴムパッキング(1mm・2mm)(2コ)

3 計測と表示の機能

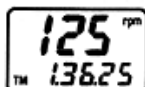
SPD 走行速度



上段に表示され、0(4)~105km/h(0(3)~65mile/h)で1秒毎に更新されます。計測可能な速度上限はタイヤサイズにより次表の通りです。セレクトボタンを押すとケイデンス表示に変わります。

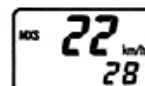
1	タイヤ径	(inch)	20	22	24	26	27	28
2	タイヤ周長	(cm)	160	176	192	208	216	224
3	上限速度	(km/h)	78	86	93	101	105	109
		(mile/h)	48	53	58	63	65	68

CDC ケイデンス



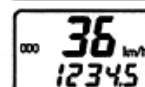
上段に表示され、1分間当りのペダル回転数(rpm)(ケイデンス)を計測、表示します。セレクトボタンを押すと走行速度の表示に変わります。

MXS 最高速度



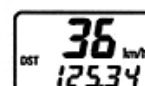
瞬間最高速度を記憶し下段に表示します。0(4)~105km/h(0(3)~65mile/h)で計測可能な速度上限は、走行速度と同じです。(注)上段がケイデンス表示になっている場合は、MXSモードはスキップされ、最高速度は表示されません。

ODO 積算距離

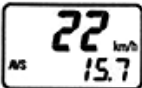


電池がなくなるまで計測し、積算しつづけ下段に表示します。0.0~9999.9km(mile)で最小単位は0.1km(mile)です。10,000km(mile)で、ゼロにもどり引き続き計測します。

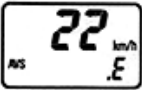
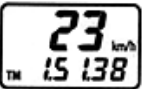
DST 走行距離



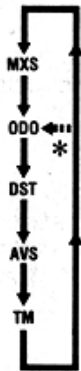
スタートしてから現時点までの走行距離を計測し下段に表示します。0.00~999.99km(mile)で最小単位は0.01km(mile)です。1,000km(mile)で、ゼロにもどり引き続き計測します。

AVS**平均速度**

スタートしてから現時点までの走行時間と走行距離にもとづいた平均速度を計算し下段に表示します。走行時間で27時間46分39秒(99999秒)、走行距離で999.99km(mile)まで計算し、表示します。これらのいずれかを越えると、Eが表示され計測できません。

**TM****走行時間**

スタートしてから現時点までの経過時間を計測し、時・分・秒、で下段に表示します。0.00.00~9.59.59で最小単位は1秒です。10時間でゼロにもどり引き続き計測します。

4 ボタンの機能**セレクトボタン(SELECT)**

上段の表示、走行速度とケイデンス(ペダル回転数RPM)が切りかわります。

モードボタン

1回押す毎に表示モードマークを、図の順序で変えると同時にそのデータを下段に表示します。

*ケイデンス(RPM)表示の場合、MXS(最高速度)は表示されません。
尚、(MXS)は以前のデータを保持したままになります。

スタート/ストップボタン

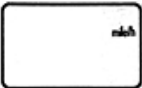
走行距離・走行時間の計測を同時にスタート又はストップします。ボタンを押す毎に、スタート・ストップをくりかえし、スタート状態(計測中)のときはrpmがmile/h又はkm/hが点滅します。

●リセット操作

モードボタンとスタート/ストップボタンを同時に押すと、記憶されている最高速度、走行距離、平均速度、走行時間のデータを0にもどします。

●オールクリアー操作

モードボタン・スタート/ストップボタン・セレクトボタンの3つを同時に押すと記憶(ODOのデータも、タイヤ径のセットも)はすべて消えて、表示は2秒間全点灯の後mile/hの表示になります。電池を入れるとき及び異常表示のとき以外は操作しないでください。

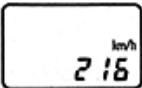
5 コンピュータの準備

(図1.)

○使用する前に次の3つの準備が必要です。

- 電池の装着(購入時、電池は装着されています。距離単位のセットからはじめてください。)

コンピュータを裏がえし、(図3)の様に、コイン等でバッテリーケースカバーをはずしてください。リチウム電池(CR2032)を1コ用います。図のように①を上にして正しく入れケースカバーをしっかりとめてください。



(図2.)

- 距離単位のセット

押しボタン(セレクトボタン・モードボタン・スタート/ストップボタン)3個を同時に押して“オールクリアー”にすると、表示面が2秒間全点灯します。その後、(図1)の様に表示面にはmile/hのみが表示され、スタート/ストップボタンを押す毎にkm/hとmile/hが交互に表示されますので希望の距離単位を選んでください。次に、モードボタンを押すとその距離単位がセットされ、図2の表示に変わります。



(図3.)

- タイヤ周長のセット

(1) タイヤ周長の求め方

(図4)の如く、車輪の乗車時の接地半径R(cm)を測定し、次式からタイヤ周長L(cm)を求めるか、タイヤの接地面にペンキ等で印をつけ、路面についたペンキの間隔からL(cm)を直接求めます。 $L=2\pi R=6.283R$ (cm)

*表1に、R(cm)、L(cm)、タイヤ径(インチ)が示されています。

(2) タイヤ周長のセット

(図2)の様に表示面には、216(27インチタイヤの標準的周長cm)が表示されています。216をそのまま用いる時は、モードボタンを押すと(ODO)表示になり、216がセットされます。216を変更する時は、初めにタイヤ周長が表示された時点でスタート/ストップボタンを押すと、216が217の点滅表示になります。以後、スタート/ストップボタンを押す毎に1ずつ増し押し続けると早送りになります。130~229の間であなたの自転車に合せて選んでください。希望の数字に合ったら、モードボタンを押すと(ODO)表示になり、準備完了です。

(3) セットのやりなおしや使用中にタイヤ周長を変更する場合。

(ODO)のモードでストップ状態にして、モードボタンとセレクトボタンを同時に押してください。表示面の下段の現在セットされているタイヤ周長が点滅しながら表示されます。(2)の方法でセットしてください。

*使用中に(ODO)のモードでモードボタンとスタート/ストップボタンを同時に押すと、押している間だけ現在セットされているタイヤ周長が表示されます。



(図4.)

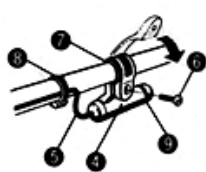
セット数値早見表(表1)

			R (cm)		L (cm)		D (inch)		*チューブラー		
R (cm)	L (cm)	D (inch)	R (cm)	L (cm)	D (inch)	R (cm)	L (cm)	D (inch)	R (cm)	L (cm)	D (inch)
25.4~5	160	20.0	28.3~4	178	1/4	31.1~2	196	1/2	34.0~1	214	3/4 700×28C
25.6~7	161	1/8	28.5	179	3/8	31.3	197	5/8	34.2	215	7/8
25.8	162	1/4	28.6~7	180	1/2	31.4~5	198	3/4	34.3~4	216	27.0 700×32C
25.9~26.0	163	3/8	28.8	181	5/8	31.6~7	199	7/8	34.5~6	217	1
26.1	164	1/2	28.9~29.0	182	3/4	31.8	200	25.0	34.7	218	1/4
26.2~3	165	5/8	29.1~2	183	7/8	31.9~32.0	201	1	34.8~9	219	3/8
26.4	166	3/4	29.3	184	23.0	32.1~2	202	1/4	35.0	220	1/2
26.5~6	167	7/8	29.4~5	185	1	32.3	203	3/8	35.1~2	221	5/8
26.7~8	168	21.0	29.6	186	1/4	32.4~5	204	1/2	35.3~4	222	3/4
26.9	169	1/8	29.7~8	187	3/8	32.6~7	205	5/8	35.5	223	7/8
27.0~1	170	1/4	29.9~30.0	188	1/2	32.8	206	3/4	35.6~7	224	28.0 700B
27.2	171	3/8	30.1	189	5/8	32.9~33.0	207	7/8	35.8	225	1
27.3~4	172	1/2	30.2~3	190	3/4	33.1	208	26.0 650A	35.9~36.0	226	1/4
27.5~6	173	5/8	30.4	191	7/8	33.2~3	209	1/8 650B	36.1~2	227	3/8
27.7	174	3/4	30.5	192	24.0	33.4~5	210	1/4 700×25C	36.3	228	1/2
27.8~9	175	7/8	30.6~7	193	1	33.6	211	3/8	36.4~5	229	5/8
28.0	176	22.0	30.8~9	194	1/4	33.7~8	212	1/2 *チューブラー			
28.1~2	177	1/8	31.0	195	3/8	33.9	213	5/8			

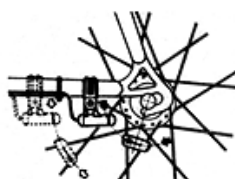
6 ホイールマグネット/ホイールセンサーの取付



(図5.)



(図6.)



(図7.)



(図8.)

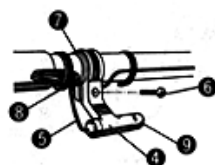
- ① ホイールマグネット
- ② ネジ
- ③ 指示線
- ④ ホイールセンサー
- ⑤ センサーコード
- ⑥ ネジ
- ⑦ センサーバンド ゴムパッキング
- ⑧ コードクリップ
- ⑨ 指示線

- (1) ホイールマグネットは(図5)に示されるように後輪左側のスポークをはさんで取付けます。
- (2) ホイールセンサーは左側のチェーンステーパイプ後部の直径により1mmまたは2mm厚のバンドパッキングを使い(図6)に示されるように取付けます。マグネットとセンサーの取付け位置は(図7)を参考に使用に最適な位置を選んでください。
- (3) ホイールマグネットとセンサーの調節は(図7・8)に示されるように指示線を合せてマグネットとセンサーの間隔が約1mmになる様に調節してください。

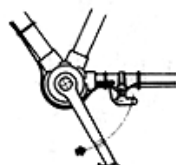
7 ペダルマグネット/ペダルセンサーの取付



(図9.)



(図10.)



(図11.)

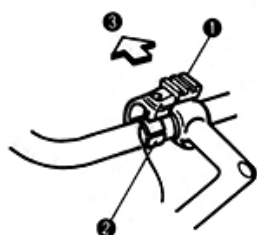


(図12.)

- ① ペダルマグネット
- ② コードクリップ
- ③ 指示線
- ④ ペダルセンサー
- ⑤ センサーコード
- ⑥ ネジ
- ⑦ センサーバンド ゴムパッキング
- ⑧ コードクリップ
- ⑨ 指示線

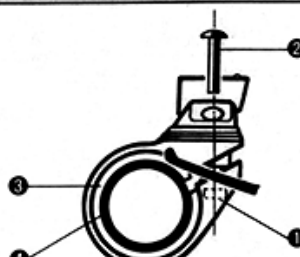
- (1) ペダルマグネットは(図9)に示されるように左側クランクの内側にコードクリップ(大)でしっかり固定してください。
- (2) ペダルセンサーは(図10)に示されるように左側チェーンステーパイプの前部に取付けます。
- (3) ペダルマグネットとセンサーの調節は(図11・12)に示されるように指示線を合せてマグネットとセンサーの間隔が約1mmになる様に調節してください。

8 ブラケットの取付



(図13.)

- ① ブラケット
- ② ゴムパッキング
- ③ 前

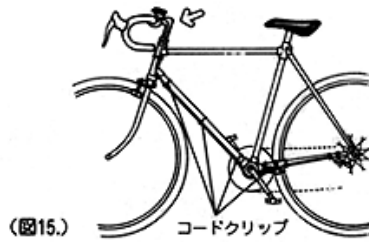


(図14.)

- ① ナット
- ② ねじ
- ③ ゴムパッキング
- ④ ハンドル

ハンドル径によって、必要に応じて付属のゴムパッキングを使い、コンピュータがハンドル中央にくるように、ハンドルステムの左側にとりつけます。(図13)ねじをブラケットが回らない程度に締めつけてください。(図14)

9 コードの固定



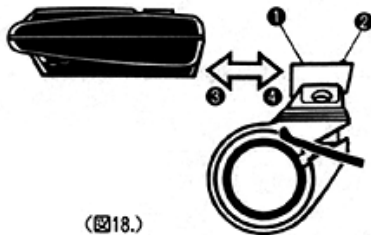
(図16.)



(図17.)

コードクリップで(図15)のようにコードを固定します。◀印の部分はハンドル操作の邪魔にならないようにコードに充分ゆとりをもたせてください。余分のコードは(図16)のようにクリップのところで折り畳んでください。クリップは(図17)のように、孔を通しペンチ等で強くひっばってください。はみ出したクリップは切り取ります。

10 コンピュータの装着



コンピュータを前方よりスライドさせて、ブラケットの溝にコンピュータ固定部のツバをはめ込みます。このときブラケットのボスが固定部に完全にはまり込むまで確実に差しこんでください。接点は自動的に接続されます。はずすときは、前方へ引きぬいてください。

- ① 接点
- ② ボス
- ③ はずす
- ④ はめる

11 テスト

コンピュータをブラケットに装着して下さい。後輪を浮かしてタイヤをまわし、スピードが表示されることを確認します。

12 テストデータのとり方

基本的なデータのとり方

- (a) 速度単位表示がケイデンス単位表示が点滅していないことを確認します。(ストップの状態にします。)
- (b) 積算距離(ODO)以外のモードにして、モードボタンとスタート/ストップボタンを同時に押します。(最高速度(MXS)、走行距離(DST)、平均速度(AVS)、走行時間(TM)はゼロ。)
- (c) 出発と同時にスタート/ストップボタンを押します。(速度単位がケイデンス表示の場合は(RPM)が点滅。)
- (d) 到着と同時にスタート/ストップボタンを押します。(速度単位がケイデンス単位は点灯したままのストップ状態になります。)
- (e) モードボタンを操作して、データを読みとる。

データのとり方応用

- (a) ツーリング等で実走行データを出したいときは、休憩時間等をスタート/ストップボタン操作で除きます。
- (b)トラックでは、スタートライン通過と同時にスタート/ストップボタンを押し、ゴールライン通過と同時に、もう一度押せばラップタイムや最高速度のデータが得られます。

注意事項

- (a) 炎天下の放置はさけてください。
- (b) コンピュータ及び付属品は分解しないでください。
- (c) 走行中はコンピュータに気を取られないで、交通安全に注意してください。

仕 様			
機 能 表 示 範 囲	速 度	SPD	0 (4)~105km/h (27 inch) 0 (3)~ 65mile/h
	ケイデンス	CDC	0 (20)~199rpm
	最 高 速 度	MXS	0 (4)~105km/h (27 inch) 0 (3)~ 65mile/h
	積 算 距 離	ODO	0.0~9999.9km or mile
	走 行 距 離	DST	0.00~999.99km or mile
	平 均 速 度	AVS	0.0~65.0mile/h・105.0km/h
	走 行 時 間	TM	0:00'00"~9:59'59"
制 御 方 式	4ビットワンチップマイクロコンピュータ 水晶発振器		
表 示 方 式	液晶表示		
検 知 方 式	無接触磁気センサー		
電 源	リチウム電池 (CR2032) ×1		

仕 様		
使用温度範囲	0℃~50℃ (32°F~122°F)	
保存温度	-20℃~60℃ (-4°F~140°F)	
適合車種 (タイヤ径)	16 $\frac{3}{8}$ ~28 $\frac{5}{8}$ インチ	
標 準 精 度	速 度	±1km/h or mile/h (50km/h以下)
	ケイデンス	±1rpm (100rpm以下)
	最 高 速 度	±1km/h or mile/h
	積 算 距 離	±0.1km or mile
	走 行 距 離	±0.01km or mile
	平 均 速 度	±0.2km/h or mile/h
	走 行 時 間	±0.003%
電池寿命	約2~3年 ※初めに入っている電池の寿命は、これより短くなる場合があります。	
寸法/重量	56×46×20mm/38g (1.34oz)	

※仕様および外観は改良の為予告なく変更することがあります。